

製品名: 嗅覚受容体 2J2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15194**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	OR2J2
別名	
遺伝子 ID	26707.0
SwissProt ID	O76002/Q5SUJ6/Q5SUJ7
免疫原	抗血清はヒト OR2J2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 263-312

背景

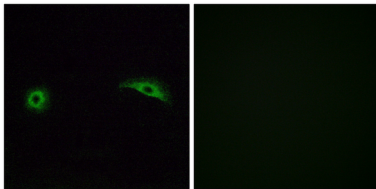
嗅覚受容体ファミリー 2 サブファミリー J メンバー 2 (OR2J2) ホモサピエンス嗅覚受容体は鼻の中で嗅覚分子と相互作用し、匂いの知覚を引き起こす神経反応を開始します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共

役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、匂い信号の認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子とタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 嗅覚受容体、多型: OR2J2 アレルには 3 つの変異体 (6M1-6*01、6M1-6*02、6M1-6*03) が知られている。ここに示した配列はアレル 6M1-6*01 のものである。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、

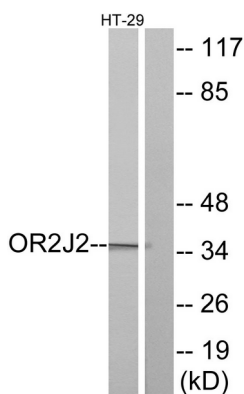
研究分野

嗅覚伝達;

画像データ



OR2J2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



OR2J2 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



嗅覚受容体 2J2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析